

輝 峰

発行 福島大学人間発達文化学類
同窓吾峰会福島支部
発行責任者 渋谷 朗
発行年月日 令和8年8月31日
広報担当 福士 久子

令和8年度福島支部評議員会の報告

今年度の評議員会は、来賓・評議員・役員52名の参加のもと、6月13日(土)杉妻会館において開催されました。初めに渋谷支部長から、会費値上げにご理解いただいたことへの感謝、および7年度の支部活動を無事終えることができたことの報告と御礼がありました。また、同窓吾峰会福島支部会員名簿の発行と規約改正についての説明がありました。最後に令和9年度同窓吾峰会創立140周年記念大会が令和9年9月25日(土)、ウェディングエルティで開催する旨のお知らせがありました。

次に、県北教育事務所嶺岸知弘次長からは、学びの変革や学校の変革に向けて「幸せを紡ぐ県北の教育」を推進していること、福島市教育委員会佐藤秀美教育長、川俣町教育委員会佐久間裕晴教育長のお二人を代表して、佐久間教育長からは、教員不足や不登校などの現状を踏まえ、令和9年度からの福島大学教育学部への夢と期待のお話をいただきました。同窓吾峰会野崎修司会長からは、大学の改革の時期での様々な課題や、子どもの頑張る力を育てる家庭の問題、同窓吾峰会の組織の大切さなど幅広いお話がありました。

その後、大崎孝一評議員を議長に選出し協議を行いました。7年度の事業・会計報告及び8年度事業計画・予算案とともに令和8・9年度の役員選出及び支部運営の充実のための副支部長6名体制と事務局の担当・仕事内容の明確化を図った規約改正が提案どおり承認されました。最後に評議員の役割や名簿作成・会費納入等について確認し合い会を終えました。



佐久間裕晴川俣町教育長



野崎修司吾峰会会長



渋谷朗福島支部長



嶺岸知弘県北教育事務所次長

研修会 講演

福島県立美術館で開催された「前期大ゴッホ展『夜のカフェテラス』」に寄せて、福島大学人間発達文化学類 渡邊晃一教授にご講演いただきました。

演題「ゴッホ展によせて 福島の文化藝術との関わりから」

渡邊晃一教授の講演をお聴きして 参加者からの感想

ゴッホ展に寄せて

評議員(笹谷2班) 長澤 芳明

熱く講演中の渡邊晃一教授

私は、美術館で過ごすのが好きである。県内の美術館もそうであるが、たまに訪れる上野の西洋美術館でのひときは、私にとって至福の時間である。様々な絵画をじーっと見てみると、絵の中に入り込み、描かれている森の小道や海岸を歩いているような感覚になり、心身ともにリセットできるのである。

西洋美術館の常設展で目にするゴッホの作品からは、鮮やかな、いや強烈な色彩表現の画家と思い込んでいた。彼の生き様を知らなかったし、詳しく知ろうともしてこなかった。

今回、渡邊晃一先生の講演をお聴きし、美術の三つのキーワード(IMT*)を通して語られた、ゴッホの作品に込められた思いや願い、当時の時代背景、日本との関わり、彼を支えた家族…等々、改めてゴッホの人となりを知り、作品をもっと見たい、もっと知りたいと思うようになったのである。

そういえば、「大ゴッホ展―一夜のカフェテラス」では、作品の展示が時代の変遷に沿って陳列されていた。簡単な説明もあり、あの時は、「そうなのか、ふーん」とあまり気にせず、夜のカフェテラスの写真を撮って満足していたような気がする。今思うとなんともったいない時間を過ごしていたのか。残念でならない。

今勤めている教育関係施設には、平日は、学校・園の子どもたちが授業の一環として体験学習にきている。また、土日祝日は、各ワークショップ(WS)や各種イベントを親子や団体が直接体験を楽しみにきている。「それ、知ってるよ。」という子どもたちが多くいるが、具体的にはよく分かっていない。深く分かってほしい。子どもも結構多いのである。担当する理科のWSでは、直接体験を通して、科学の面白さ、すばらしさに触れさせたいと考え、特にWSの導入には毎回自分なりの工夫をしている。子どもたちがWSを通して、科学をもっと楽しみたい、もっと知りたいと思えるようにそのきっかけを誘う「案内人」としての役割を今後も担っていきたいと考えている。時間的な制約から学校・園ではなかなか味わえない「直接体験」を、これからは子どもたちとともに味わい、子どもたちが成長する一助になればとも思っている。

さて、今回の研修会を通して、美術作品の「案内人」である渡邊晃一先生から、美術館に行く際の楽しみ方、新たな視点を示唆していただいた。多忙な中、貴重な時間を割き、美術作品への向き合い方を熱く語ってくださった渡邊晃一先生に改めて感謝をするとともに、今後、ますますの活躍を願うばかりである。

2027年6月19日から第2期「大ゴッホ展―アルルの跳ね橋」が開催される。目玉である「アルルの跳ね橋」は、なかなか見ることができない作品である。この作品もじっくり見てみたいが、他の作品がどのように展示されるのか、全体を通してのテーマは何なのかを、時間をかけて鑑賞したいと思っている。

※IMT: I (Identity, Idea, Image: 自己表現、理念、心象)、M (Material, Matière, Media: 素材、画肌、媒体)、T (Theme, Text, Technique: 構図法、遠近法、美術解剖学などの技法)



令和8年度 福島支部評議員懇親会に参加して

～今年も楽しかった懇親会～

来賓の方からの学校現場や大学の現状のお話や非常に面白かった渡邊晃一先生の講演を話題にしながら話が弾み、あっという間に過ぎた懇親会でした。先生の模写されたゴッホの「夜のプロヴァンスの田舎道」が懇親会会場にも展示され、実物をもとに解説してくださいました。絵を手で触れて技法を感じさせてもいただき、美術の面白さやゴッホの素晴らしさを改めて知り、感激いたしました。

年に一度、教育や大学を思い、教養を高め、同窓生の方々と気さくに交流させていただけるこの機会を大事にしていきたいと思ひます。

理事 工藤美奈子



杯を交わし旧交を温める会員

シリーズ『福島大学教育学部 跡地を偲ぶ』 NO.9

私のパワースポット

平成13年卒 教育学部小学校課程（言語系A）
（現 福島市立水保小学校 教諭）

角田 咲恵

私にとって金谷川キャンパスは、『夢を目標にしてくれた場所』であり、同じ目標に向かって頑張る『かけがえのない友達や仲間と出会った場所』です。福島大学に来て本当によかったと思ひます。

キャンパスは、いつも緑の香りがしました。山形県出身の私にとって福島は『東京に近い＝都会』でしたので、自然豊かなこの環境に心底ホッとしたのを覚えています。『大学の友達は一生の友達』と聞いたことがあります、まさに私はここで『一生の友達』に出逢います。毎日一緒に過ごした友達は、授業のこと、生活のこと、自分のこと…楽しい時も、情けない時も、どんな自分も受け止めてくれました。

2年生になり、友達に誘われて教育実践センターで実施していた「自然体験学校」という事業に参加しました。これは、福島市内の小学校5年生から中学校3年生を対象に100名程度募集し、3日間、国立磐梯青年自然の家で過ごすという事業です。大学生は3日間のプログラムを考え、担当班に分かれて計画準備を行います。実は、この時自分が何を担当していたのかあまり覚えていません。開閉会式・ウォークラリー・キャンプファイヤー等様々な担当がありましたが、どの班も前年度経験した「ベテラン」と呼ばれる先輩方がリーダーシップを取って進めてくださいました。自分の考えをもち、進んで発言し話し合って決めていく先輩たちの姿がとてまかつよく、私はただ自分にできることを一生懸命やろうということだけを考えていました。3日間、担当班の児童・生徒と一緒に過ごしましたが、緊張していた子どもたちがだんだん自分を出せるようになり、たった3日間でチームの絆を深め成長していく姿に大変感動しました。

3年生になり、再びこの実習に参加しベテランという立場で学習班を担当することになりました。正直な所、「学習班が…堅いなあ。」と思ひました。しかし、なったからには面白い時間にしなければなりません。後輩と一緒にどんな内容にしようかと放課後は毎日のように集まって話し合いました。時には白熱し、行き詰まり、理解を深めながら準備していきました。受け身では絶対にできない授業です。自分たちで考えて準備することはこんなにも大変なのかと思ひましたが、本番を終えた時には、前年度以上の感動や達成感が待っていました。この経験のおかげで、「小学校の先生になりたいな。」とぼんやり描いていた夢は明確な目標へと変わりました。一緒に試行錯誤してきた同級生、先輩、後輩とは、自然体験学校の後も度々飲み会を開きいろいろなことを話しました。そしてかけがえのない仲間となりました。

卒業後、私は小学校で講師を勤め、退職後は教員採用試験勉強のために大学の図書館に通いました。緑の香りに包まれ、仲間と過ごしたこの場所に来ると自然と勉強のスイッチが入ります。私にとって、キャンパスはまさにパワースポットなのです。採用人数の少ない年が続きましたが、あきらめずに試験を受け続け、なんとか合格し今に至ります。

大学のHPを調べてみたところ今年度も自然体験学校が行われていました。あの頃の私のように、多くの仲間と共に夢を追う後輩がたくさんいることでしょう。

教師という職業は、やはり素晴らしい仕事です。これから同じ職場で出逢うかもしれないその方たちと共に、やりがいを感じながら仕事ができるように、私も今を精一杯頑張りたいと思ひます。

（そして、この夏休みに最近ご無沙汰している仲間たちに連絡して、エネルギーをチャージしたいと思ひます！）



現キャンパス中央広場



現キャンパス図書館入りロホール

賀寿状贈呈

酒井 秀子 様

2月25日、お誕生日当日、渋谷支部長と内藤副支部長が入所されている施設を訪問。教員生活の中での一番の思い出は、へき地校での瞳輝く子供たちや温かく支えてくれた保護者、地域の方々、そして豊かな自然である当時を懐かしむようににこやかにお話されていました。元気の源は、優しい家族や施設の方々との楽しいおしゃべりとのことでした。



渡邊 宣 様

5月1日お誕生日前日、渋谷支部長と朽木眞里評議員がご自宅へ訪問。大変お元気に過ごされており、健康の秘訣をお伺いすると、「特別なことはしていないけれど、現職の頃から子どもたちと走って足腰を鍛えていたこと、ラジオ体操を毎日していること、好き嫌いなくなんでも食べることだ」とお話くださいました。



遠藤 浩寿 様

5月10日、渋谷支部長と高橋副支部長がご自宅へ訪問。元気の源は、健康に気を付けて過ごすこととテレビの大相撲を見てわくわくすること。郷土力士の活躍が毎回楽しみです。また、渡利中などで教えた教え子たちが時々会いに来てくれてお話することがうれしいと笑顔でお話くださいました。



※遠藤浩寿様は去る7月17日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

盛 華世子 様 施設に入居されており、賀寿状を渋谷支部長と丹治秀樹評議員がご子息様へお渡しいたしました。

紹介します ～令和8.9年度同窓吾峰会福島支部事務局校～

令和8.9年度の事務局校は下記のとおりです。いろいろお世話になります。

庶務担当校：【松陵義務教育学校】事務局長：校長 小林将路 事務局次長：教頭 吉川卓央
会計担当校：【福島第二小学校】事務局次長：教頭 安田康一



本部ホームページに
アクセスどうぞ